



日本共産党 荒川区議会議員

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

867 2023年6月25日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
7月3日(月)
18時~20時
横山区議事務所
ご相談はお気軽に

荒川区議会

区民により開かれた区議会をめざし
議会改革の提案(第一次)を申入れ



議会運営
は、全会派
一致を原則
にすること。
そのため議
会運営委員

第一次申入れ項目
議長、副議長の選出は、
第一会派、第二会派の順
で適切な人選、民主的な
議会運営を保障、毎年交
代を行わないなどを前提に
全会派一致で選出すること。
議員選出監査委員につい
ては、これを廃止すること。
各委員会の役割について、
常任委員会、特別委員会、
議会運営委員会を一体とし
て会派議員数に応じて配分
すること。

議会運営
は、全会派
一致を原則
にすること。
そのため議
会運営委員
員が各定例会議
で行えるよう改
善すること。
本会議、各委員会審議の
映像・音声をライブ配信す
ること。



「議員固有の権能」
財政全般にわたる議員主導
の政策議論
ある一般質問に
ついては、全議
員が各定例会議
で行えるよう改
善すること。

各種審議会・協議会など
の議員報酬を職員と同じよ
うに廃止すること。以上

予算・決算特別委員会は、
審査に必要な時間を適切に
確保すること。
公聴会、参考人制度の実
施について検討すること。
決算審査に当たって出金
伝票など証拠書類の閲覧を
可能にすること。
また、予算審議において
も積算の基礎を議会が閲覧
可能な措置を講ずること。
各委員会の傍聴者に対し
て、審議内容のわかる資料
を配付すること。
高すぎる議長・副議長、
各委員長・副委員長の役職
報酬について見直しを検討
すること。

「議会の見える化」「活発な議論」「区民の声」
「全定例会議で全議員が質問」できる改革が第一歩
日本共産党荒川区議会議員
団は、6月19日、区民に
より開かれた議会をめざす
「議会改革の提案」14項目
を議長に提出しました。
荒川区議会では、201
3年に議会基本条例が制定
され、通年議会の実施など
実現、その間、多くの議会
改革に取り組んできました。
同時に積み残された改革案
やその後の地方自治法改正
などにより新たな課題も多
く出てきました。

いまだ地方議員
のなり手がいな
いなど全国的に
地方議会の在り
方が大きな問題
となっています。
議会が本来の役割を果た
し、住民から信頼されるた
めに議会側がしっかりと取
り組むことが必要です。言
論の府である議会そのもの
の活性化が必要です。
今後、議会での議論を通
じて実現に力を尽くします。



議会改革提案の解説
全議員が毎回の本会議で
質問できるように改善を
本会議での一般質問は、
有権者の負託を受けた議員
として最も大事な仕事です。
区民の声を届けるだけでな
く、議員の側から政策論議
を行うことができる場です。
しかし荒川区議会では、
1議員年間50分、1回最低
25分(区の答弁含む)の制
限があり年4回の定例会議
で最大2回しか質問できま
せん。少なくとも全議員が
全ての本会議で質問できる
ように改善が必要です。

夏の過ぎ夏本番の時期を迎えますが
熱中症への備えがいつそう求められます
このニュースを作成してい
る6月21日が夏至でした。一
番昼間が長い日で、午前4時
25分日の出、19時日の入り
でした。写真は、夜の帳が下
りる頃の景色です。ご存じ
のように夏至は、夏に至る
という意味です。これから
本格的な夏に向かうのです
が、すでに真夏日が何日も
あつてニュースで熱中症の
報道も繰り返されました。
今夏は、猛暑の予想。気候
変動対策も待たないで重
要です。同時に、命を守る
ための熱中症対策が必要で
す。今年は特に電気代の高
騰もありエアコン使用をた



「町屋さくら復活・移動の自由保障を考える」②
交通不便地域が台東区にあって荒川区にない??
荒川区は、「区内に交通不便地域」がないとして
「運行経費にお金は出さない」態度に固執しています。
しかしお隣台東区では、一番最近コミュニティバス
めぐりんの東西路線の導入に際して、路線バス、鉄道
駅から200メートル以上離れている地域を交通不便
地域として調査し路線・バス停など決めたよ
うです。また台東区の公共交通会議では「23区でも
高齢化率が高い」「高齢者の生活支援」がコミュニ
ティバスの路線拡大の大きな理由になっています。そのた
め年間2億円余の税金を投入しているの
です。少なくともお隣台東区と同じ基準
(半径200メートル以内など)で実態
調査を行うべきです。それが出発点であ
り区の責任です。引き続き実現に向けて取り組みます。



# 区政トピックス

## 校庭からクギ…区内の小中学校でも

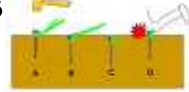
杉並区で4月、小学校の校庭に埋まっていた釘で児童が大けがをする事故が発生。学校が調べたところ、同じ校庭から544本の釘やフックが見つかりました。5月12日から区も調査

事故をつけ、文科省は、全国の教育委員会に安全点検の実施を通知。荒川区でもゴムチップと人工芝以外の校庭の小中学校、幼稚園計31校で点検が行われました。教職員が目視などで確認、幼稚園と中学校では見つからず、小学校6校の校庭から258本の釘が発見

校庭の状態	幼稚園	小学校	中学校	計
ゴムチップ	尾久	三瑞、汐入東、峡田、尾久六、尾久宮前、一日、二日、ひぐらし(7校)	南二、諏訪台	10
人工芝	-	-	原	1
芝生	南千住第二	瑞光、二瑞、汐入、四峡、五峡、九峡、赤土、尾久西、三日(9校)	第七	11
その他	他7園	六瑞、二峡、三峡、七峡、尾久、大門、六日(7校)	他6校	20

31校で調査、小6校から258本発見

土の校庭に運動会や体育の授業で整列や競技の線を、石灰を入れたラインカーで引く時の目印として使用。スズランテープを付けた釘を木槌でたたき、頭を完全に地面に埋め込みスズランテープだけが出るようにしています。スズランテープの先が切れて、釘の存在がわからなくなることが起きる。校庭がぬかるむこともあり、何らかの拍子で釘の頭が地面に現れ、怪我につながったと思われます。



# 荒川区議会6月会議 日本共産党の質問

改選後初めての区議会定例会議で日本共産党からは音藤くに子議員、小島和男議員が一般質問を行います。以下質問項目をお知らせします。

**音藤くに子議員**  
26日(月) 13時頃

1. マイナンバーカードと保険証の一体化による保険証廃止は等しく誰でもいつでも医療にかかれる国民皆保険制度を根底から崩すことになると考えるが認識を問う。  
2. 第9期高齢者プラン作成にかかわって  
介護職員処遇改善は施設でともに働いている看護師ケアマネジャー、リハビリ職員、事務職員も含め、その財源は介護報酬によるのではなく、国からの交付金や介護保険会計の国庫負担割合の引き上げなどで実施する必要があると考えるが認識を問う。  
人材確保に苦勞している送迎運転手について、事業所の意見を聴取し、利用者の安全快適さに配慮した送迎体制を検討すること。

3. 子育て支援について  
教育委員会として、算数セツトや鍵盤ハーモニカなど学校で常備出来る教材教具について検討し、各学校予算を増やし、2024年度から公費で準備すること。  
対象外となっている家庭的保育園の定員割れ補助金を4月にさかのぼって出すこと。  
4. 投票する権利保障として  
来年の区長選挙から記号式投票の導入や移動投票所、投票移動支援を検討すること。

小島和男議員  
28日(月) 10時50分頃  
1. 西日暮里駅前地区再開発について  
参加組合員予定者の選定過程評価基準など区民と議会に全面的に公開すること。  
1000戸のマンション建設による人口増に対応した学校など社会的インフラの計画を明らかにすること。  
2. 住宅対策について  
従前居住者用住宅を不燃化特区はじめ木造密集地域全域に拡大し、老朽住宅の建替え住み替えなどを促進すること。  
震災から命を守るためにも住宅困窮者への高齢者、ひとり親世帯、若者など家賃助成を実施すること。  
3. 日暮里駅の紅葉橋のエレベーター、エスカレーター設置に当たってはエレベーターを先行すること。

## 今週のデータ 保険証廃止するな 72% 世論調査 マイナー本化に批判



岸田政権が推し進める健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化に対し、世論調査で反対が賛成を大きく上回っていることが分かります。この調査実施の後もトラブルは続いています。命にかかわることだけに健康保険証の廃止は撤回し、マイナンバー保険証の運用を停止し徹底した原因の究明を行うべきです。

## 荒川区の待機児童は...

	2021	2022	2023
認可園申込者	1,367	1,247	1,367
入園承諾	1,126	1,040	1,147
入園不承諾	241	207	220
他の保育利用			
認定保育所	20	17	12
家庭的保育	11	5	3
定期利用	5	6	2
小計	36	28	17
保育利用なし			
1園希望	17	10	10
地区内空枠あり	34	26	18
求職活動停止中	3	7	5
不承諾希望	130	132	169
書類不備	0	4	1
小計	184	179	203
待機児数 - (+)	21	0	0

区議会に今年度の認可保育園入園や待機児童の状況が報告されました。区内の0〜5歳児童数は、2017年をピークに減少傾向です。21年以降1万人を下回り、今年は9,281人(前年比211減)に。保育園等を利用する児童は5,702人で、昨年より113人増。保育園利用率は61.4%で過去最高に、少子化のなかでも保育需要は増加しています。

## 今年度保育園入園の待機児状況は...